

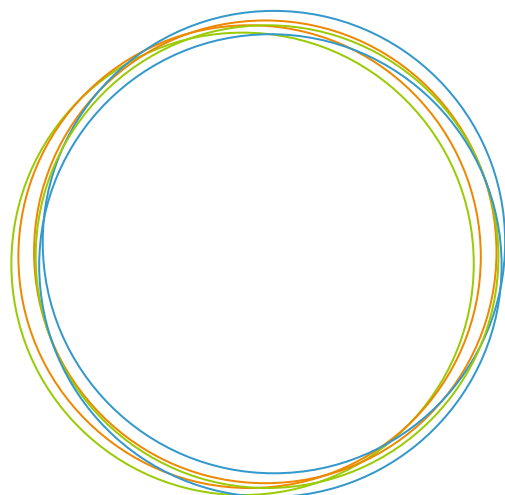


三井住友信託銀行
SUMITOMO MITSUI TRUST BANK

21世紀金融行動原則セミナー

オープニングトーク

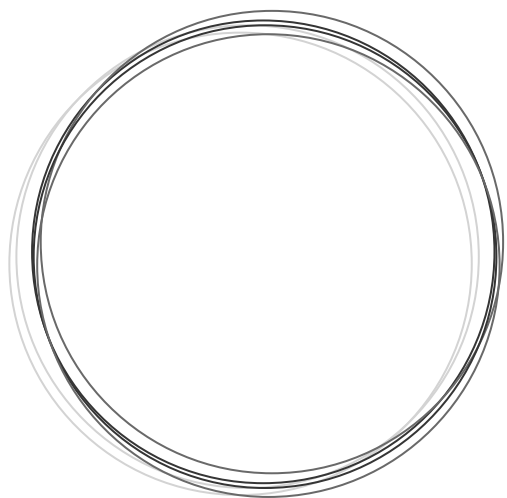
サーキュラーエコノミーの概要と 金融機関の役割



2023年12月18日

経営企画部 サステナビリティ推進部

Technology Based Financeチーム



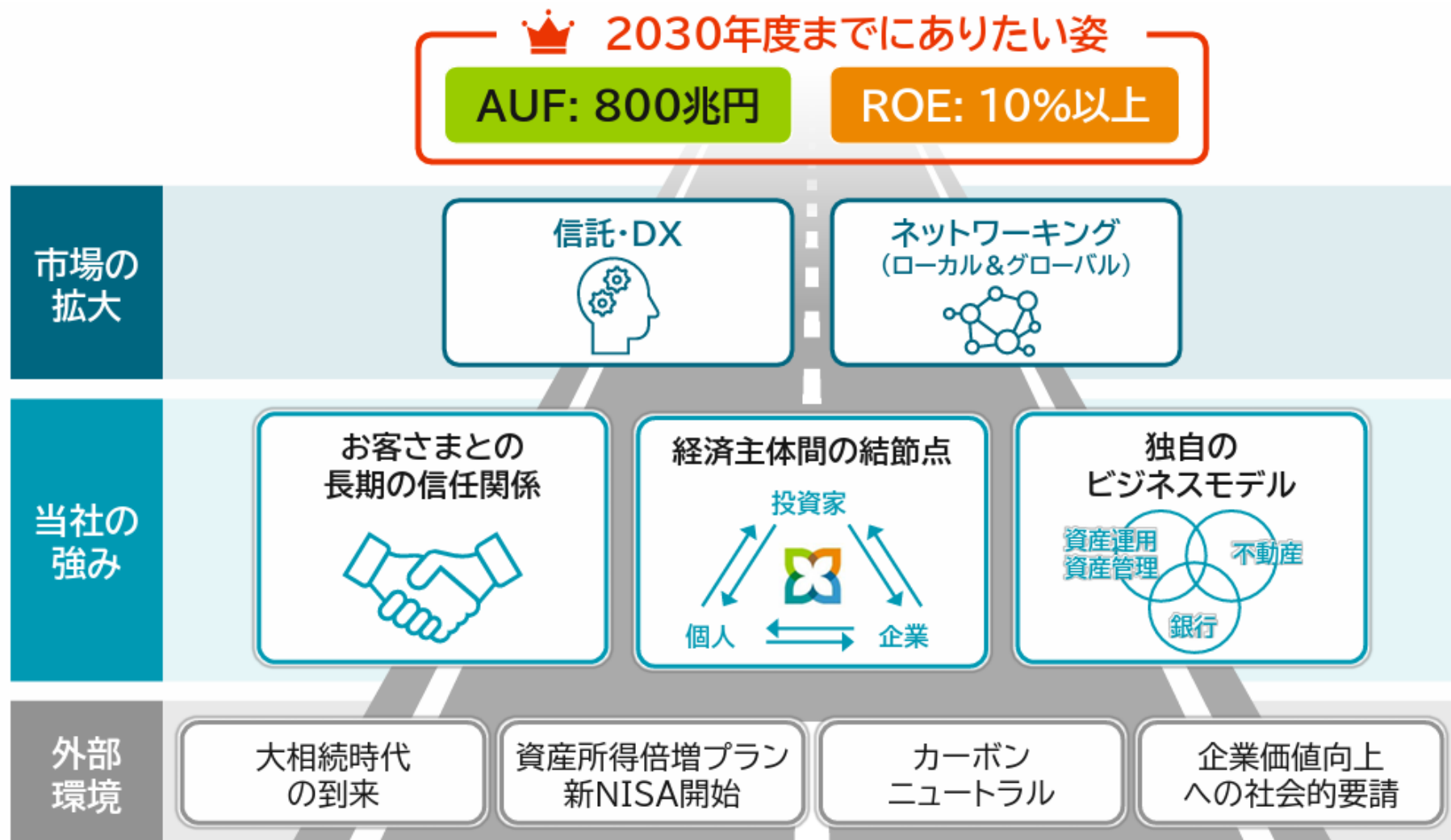
1. | 当社紹介
2. | サーキュラーエコノミー概要
3. | 金融機関の役割

会社概要



本店所在地	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
代表者	取締役社長 大山 一也
設立	1925(大正14)年7月28日 (2012(平成24)年4月1日商号変更)
総資金量	90兆4,686億円
総資産	62兆5,300億円
貸出金	30兆9,296億円(元本補てん契約のある信託勘定含む)
資本金	3,420億円
従業員数	13,608人
拠点数	国内/149カ所(支店133、コンサルプラザ他16) 海外/支店5、駐在員事務所5

HD中期経営計画(2023-2025年)におけるロードマップ



Technology Based Finance; TBFチームの紹介

各技術領域にインパクト評価を掛け合わせて、社会課題解決を実証段階から伴走



12名の
技術者



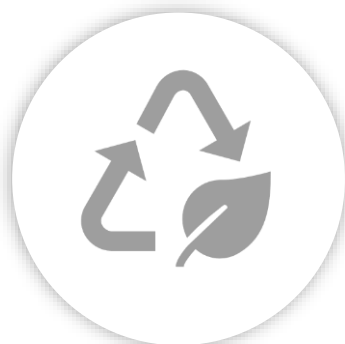
インパクト評価



解決する
社会課題



脱炭素



資源循環



生物多様性

サーキュラーエコノミーに関する主な取組事例

自治体、企業、大学と様々な案件推進によるCE分野のリレーションや知見を構築中

1

地域循環の取組

あいちCE推進プランへオブザーバー参加

プラスチック、太陽光パネル、衣類、食品などの循環スキーム構築のサポートを実施

蒲郡市サーキュラーシティ実現に向けサポート

蒲郡市の抱える課題解決とWell-being向上に向けた事業組成をサポート

3

企業連携

エンビプロHDと連携協定(2023年7月リリース)

静脈企業である同社と連携、ごみ行政を効率化する地域サーキュラー、地上資源を有効活用する製品サーキュラーの取組を推進

CLOMA、J-CEPへの加盟

【CLOMA】未来ビジョンTFメンバー 【J-CEP】アマタHDとMEGURU STATIONが創出するインパクトの定量化に取組む

2

インパクトエクイティ投資

アールプラスジャパンへ出資(2022年2月リリース)

廃プラスチックのケミカルリサイクル実現を目指す同社へ出資、廃プラ回収や事業化をサポート

レコテック社へ出資(2022年11月リリース)

廃プラ循環が見える化する同社へ出資
各種プロジェクトでの連携実施中

4

中長期の取組＝大学連携

金沢大学COI-NEXT参画

「再生可能多糖類植物由来プラスチックによる循環社会共創拠点」に参画(副PL)インパクト評価を活用した拠点運営に取組む

東京大学COI-NEXT参画

「ビヨンド・“ゼロカーボン”を目指す“Co-JUNKAN”プラットフォーム研究拠点」に参画、金融基盤構築に取組む

サーキュラーエコノミーに関する対外露出

CE移行加速に向け、様々なセミナーへ登壇

2023年6月2日

エグゼクティブ・サステナビリティ・フォーラム

ASEANとともに歩むサーキュラーエコノミー
(循環型経済)の可能性と課題



- HD社長/高倉が登壇
- 日本企業のこれまでの実績、今後果たすべき役割、普及に向けた課題について議論

左上：本田技研工業 副社長野村 隆、右上：三井住友トラスト・ホールディングス 最高執行役員
左下：三菱重工業 最高執行役員 野村 隆、右下：三菱のファンタジックグループ 三宅 隆典社長

2023年10月11日

CLOMAフォーラム2023

CLOMAフォーラム2023	
13:30	受付・開場 (告知済)
14:00	開会挨拶 CLOMA会長 岸田 隆雄 実行挨拶 経済産業省 卸売業部長 杉本 雅史 基調講演1 「日本の資源循環経済政策について」 経済産業省 産業技術振興部長 齊藤 隆中 幹長 基調講演2 「プラスチック汚染に関する協定に向けた政府間交渉委員会 (INC) の動向とINC-3への期待」 協賛者 水・大気環境局 資源循環課 課長 大井 博樹
----- 休憩(10分) -----	
15:25	CLOMAの最新状況 1. 活動の進展 CLOMA事務局 2. 地域における大規模回収・リサイクルの実現に向けて 神戸商 福嶋 拓 部長 稲島 隆 部長 1) 「神戸プラスチックネットワーク (仮)」 2) 「コミュニティ回収 (仮)」 KAWAGI 社長 豊崎 圭 部長 3. 民間団体の進展 「インドネシアにおけるCLOMA活動 (仮)」 インドネシア協会のKAWAGI 社長 稲島 隆 部長 (三井住友トラスト・ホールディングス 協賛)
17:10	閉会 情報交流

- TBF/小中が登壇
- 未来デザインタスクフォースチームの代表として、未来デザインの検討内容を報告

2023年9月19日

HAPPY EARTH FESTA 2023

環境と経済が両立する社会の最適解 | サーキュラーエコノミーを実現し、持続可能な地球の未来を創造しよう



- TBF/小中が登壇
- J-CEP参画企業とともにビジネスとして実現していくための課題や解決策などについて議論

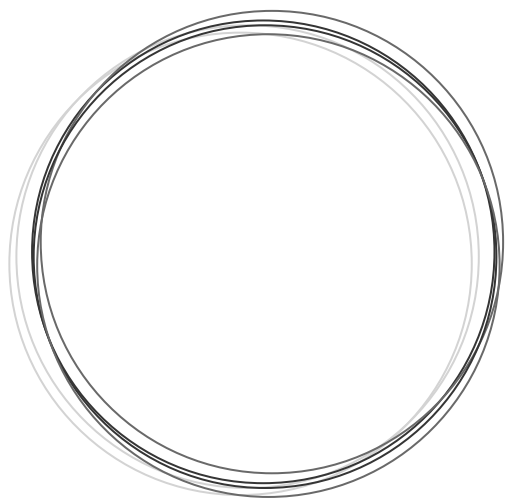
2023年12月18日

21世紀金融行動原則セミナー

地域におけるサーキュラーエコノミーの実践と
地域金融機関の役割



- TBF/小中が企画・登壇
- 地域でCEを実現するための課題や、金融機関の役割について議論

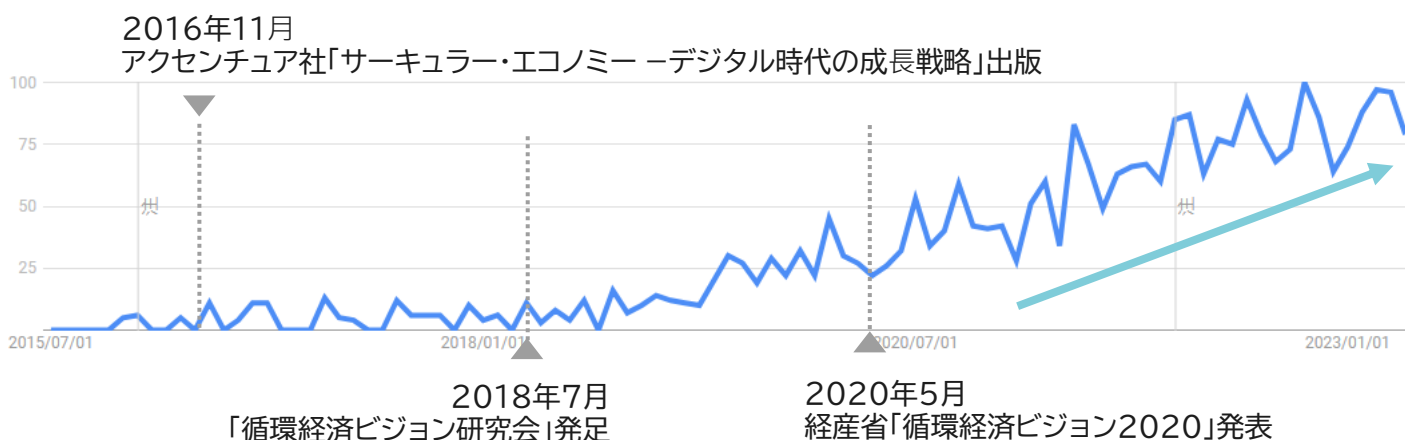


1. | 当社紹介
2. | サークュラーエコノミー概要
3. | 金融機関の役割

サーキュラーエコノミーの関心状況

世の中の関心はカーボンニュートラルからサーキュラエコノミーへの推移渦中

Googleトレンド



CEの定義 エレンマッカーサーの3原則

定義(ISO/DIS 59004Circular Economy)

持続可能な開発に貢献しながら、価値の回復・維持・追加によって
循環型の資源フローを維持するシステム・アプローチを用いた経済システム

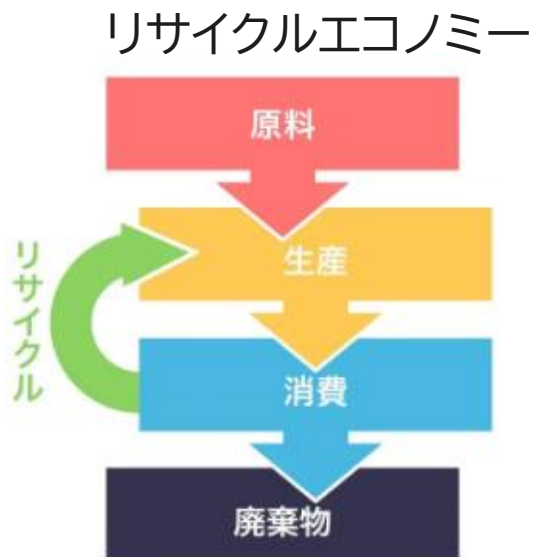
3原則(エレンマッカーサー財団)



サーキュラーエコノミーとは

従来の原料調達、廃棄による社会課題を解決可能なソリューション

サーキュラーエコノミーの概念と解決する問題点



原料を地下資源に依存

- ✓ 資源枯渇問題
- ✓ 原材料高騰問題
- ✓ カントリーリスク

廃棄が前提のシステム

- ✓ 環境汚染
- ✓ 地球温暖化



様々な社会課題解決

サーキュラーエコノミー移行が解決する4つの社会課題

サーキュラーエコノミー以降は脱炭素や資源枯渇などへ寄与する取組です



脱炭素

36%

日本におけるGHG排出量のうち資源循環が貢献できる余地



資源枯渇

1.75倍

現在人類が使用している生物資源の使用量(地球生産比)



経済安全保障

1.5倍

2021年1月から1.5年における汎用樹脂(PP,PE)の価格上昇



Well-being
生物多様性

9割以上

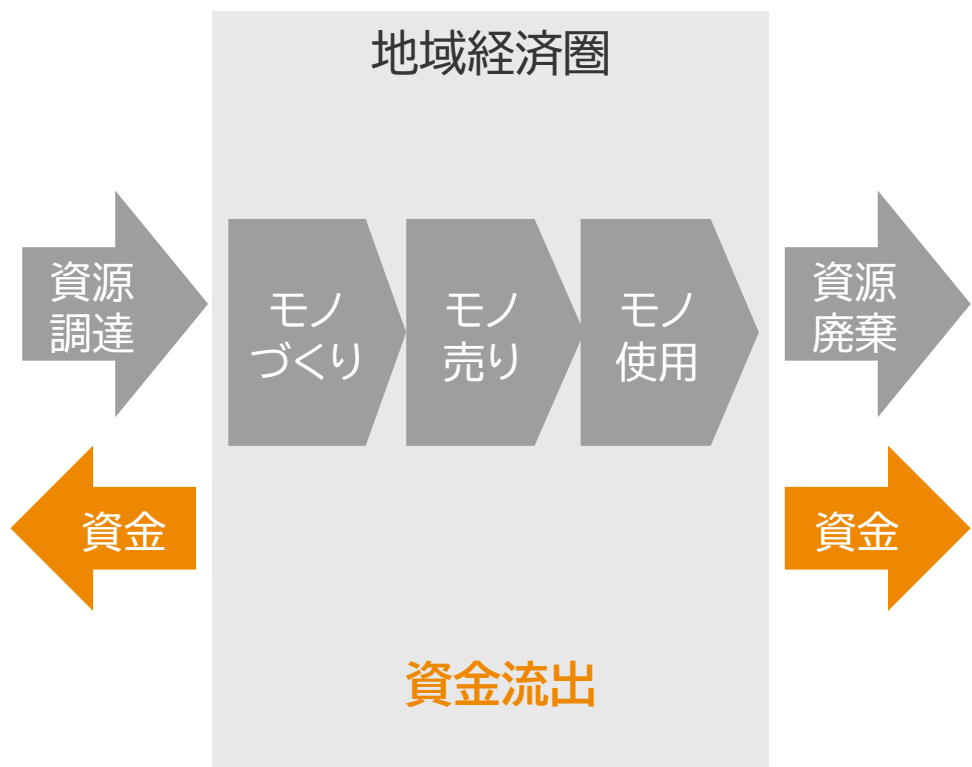
生物多様性損失原因に占める天然資源の採取や加工の割合

地域における取組意義

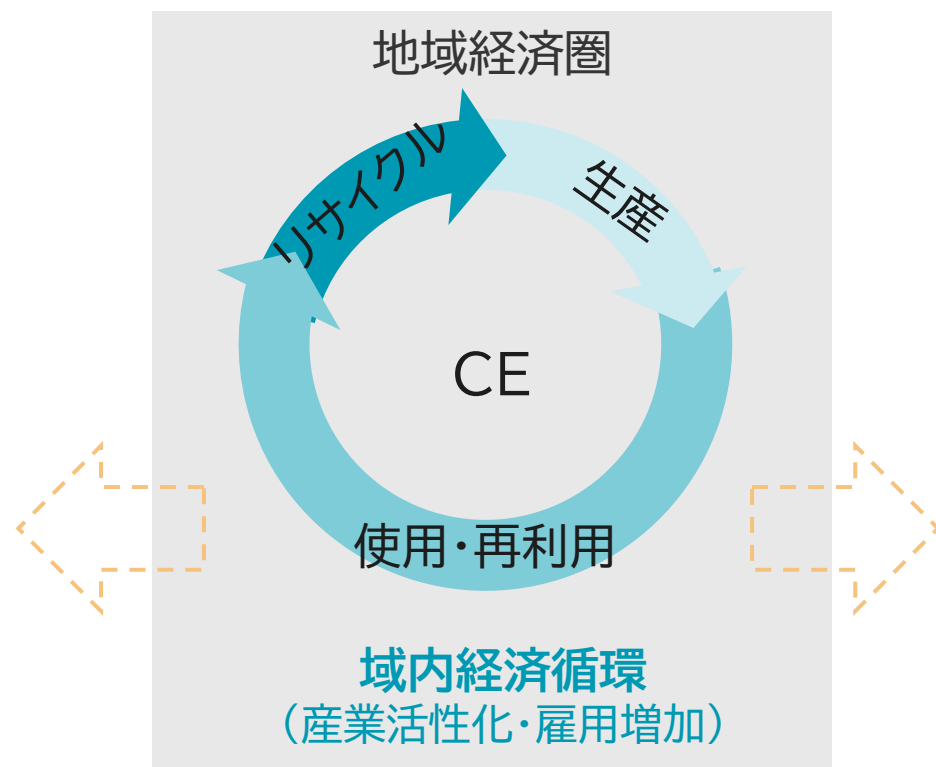
資源の外部流出を防ぎ、域内経済循環を実現することで地域の活性化が可能

リニアエコノミーとサーキュラーエコノミーの資金フロー

リニアエコノミー



サーキュラーエコノミー



(参考)岸田総理の富山出張(サーキュラーエコノミー関連)

令和5年8月10日(木)

ハリタ金属株式会社の現場視察

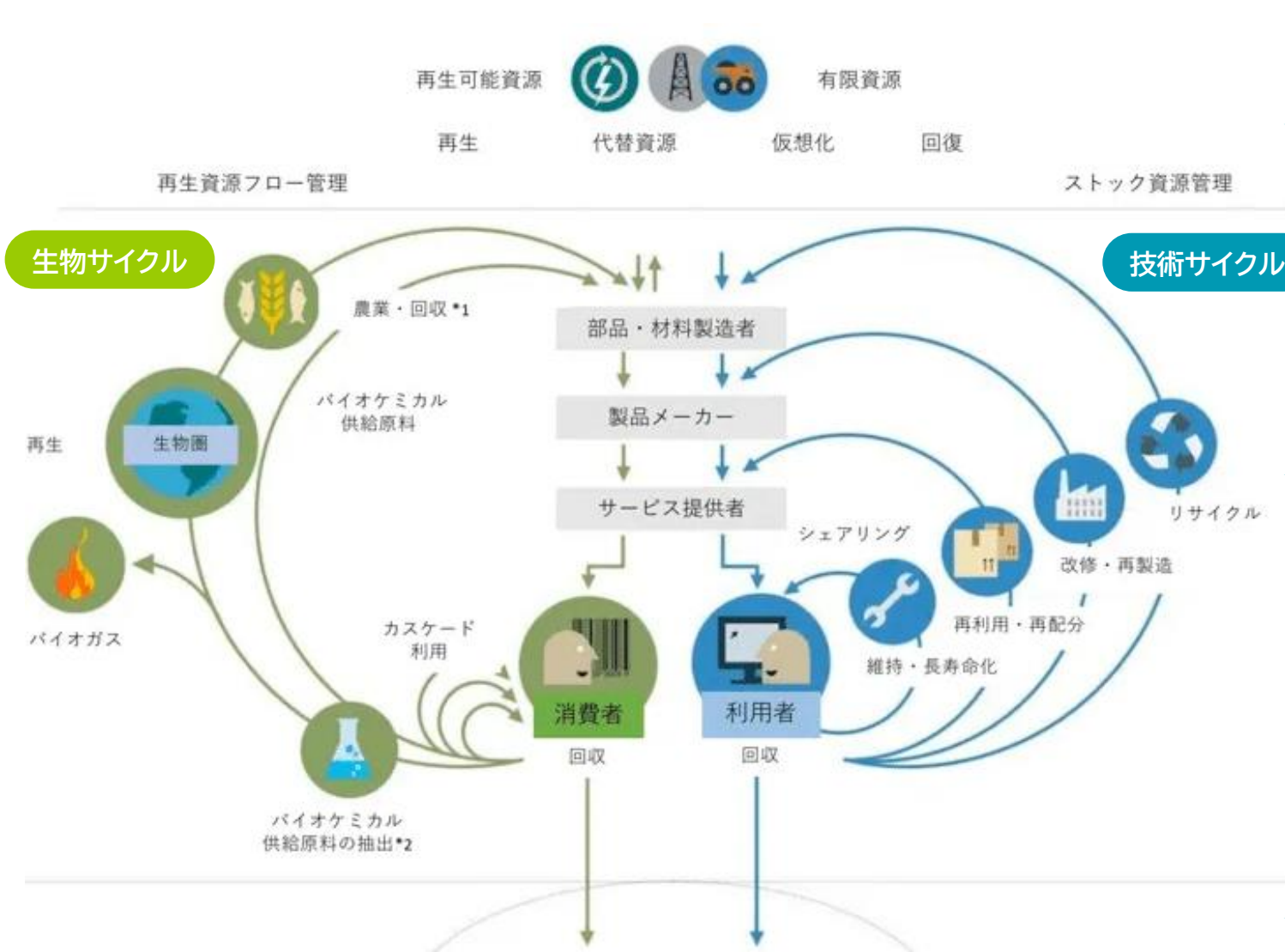
⇒ (1) アルミ水平リサイクル【新幹線 to 新幹線】、(2) 家電リサイクル【前処理】、
 (3) 自動車リサイクル【選別残渣の再資源化】等を視察。



岸田文雄 内閣総理大臣 (2023/8/10発言)

「循環経済、いわゆる「サーキュラーエコノミー」について、新幹線で使われるアルミを、高品質な部材にリサイクルして、再び新幹線に活用する先進的な取組や、若手女性社員が活躍する現場を視察いたしました。高い技術を活かした「地域に密着した資源循環の取組」は、まさに我が国が強みを持つ分野であり、地方活性化の観点からも、サーキュラーエコノミーの視点は重要であると感じました。本日の現場視察を踏まえて、資源循環を地方活性化の起爆剤とすべく、関係者を官邸に招いて、サーキュラーエコノミーに関する車座対話を今後実施したいと思います。また、9月には、経産省と環境省を中心に、「サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ」を立ち上げ、地方を中心とした取組を加速させていきます。

サーキュラーエコノミーの手法(バタフライダイアグラム)



<ポイント>

有限な資源を管理し、自然資本を維持・拡大させる

内側のループを優先させ、製品・部品・原材料を最大限有効性を保ち、循環させる

設計段階で廃棄を排除し、最小化させる

サーキュラーエコノミーの手法(バタフライダイアグラム)



- 1 シェアリング
…モノのサービス化
- 2 リユース
…そのまま再利用
- 3 メンテ/リファーマビッシュ
…製品寿命の延長
- 4 リサイクル
…素材としての資源循環
- 5 再生資源利活用
…バイオマス利用など

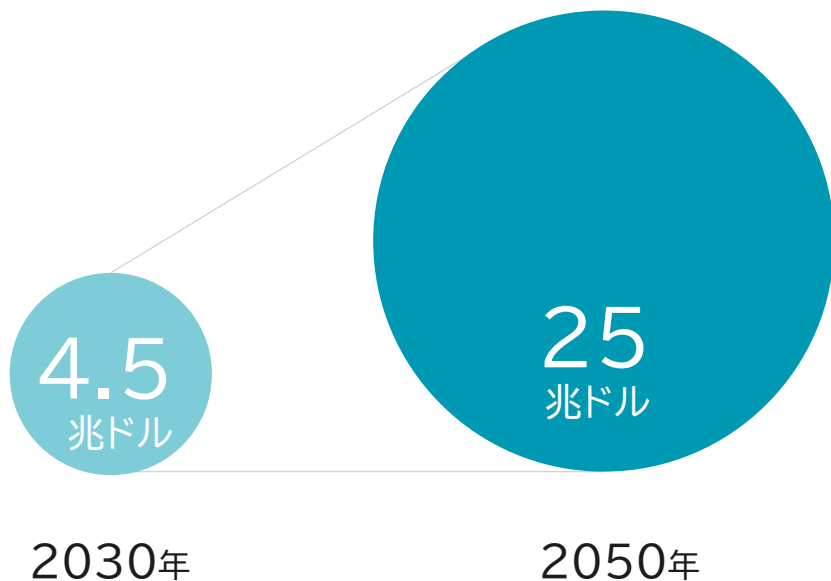
サーキュラーエコノミーの市場規模

CEはリニアエコノミーで顕在化した課題解決が可能でありビジネス成長も見込める

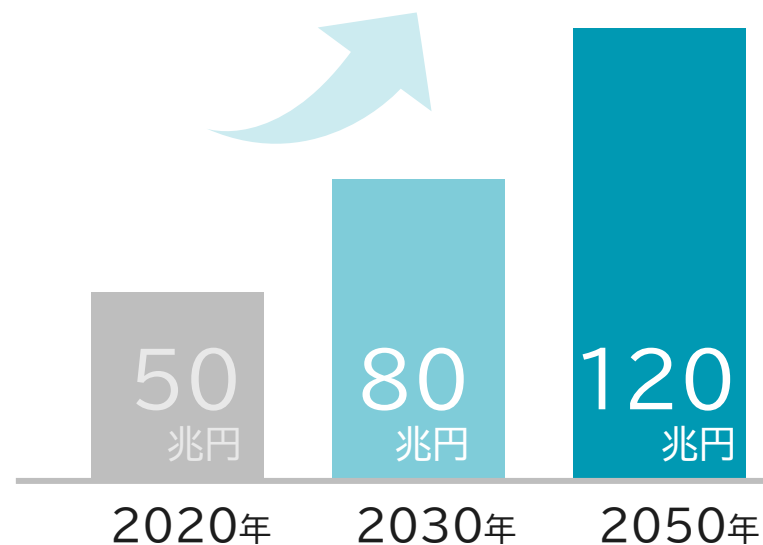
サーキュラーエコノミー関連市場



グローバル市場



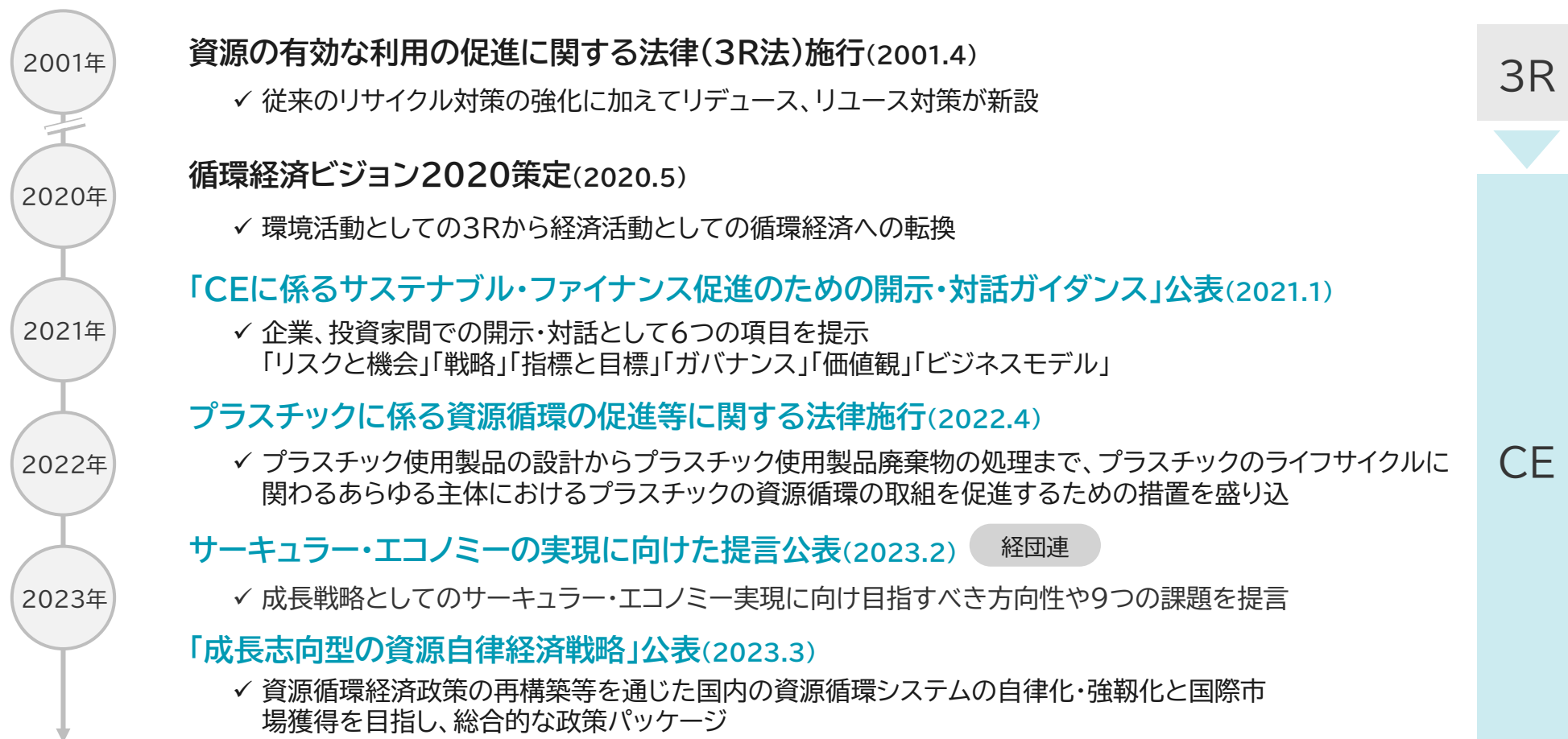
日本市場



国内の動向

2020年以降、3RからCEへ変革のためのビジョン提示や新法律施行が加速している

日本国内の動向



成長志向型の資源自律経済戦略

具体的な取組が始まり、サーキュラーエコノミー移行が加速すると思料

成長志向型の資源自律経済の確立に向けた問題意識

- ✓ 資源制約リスク : 資源枯渇、調達リスク増大
- ✓ 環境制約リスク : 廃棄物処理困難性、CN実現対応
- ✓ 成長機会 : 経済活動への影響

CEへの非連続なトランジション

- ✓ リニアエコノミー v.s. サーキュラーエコノミー
- ✓ サーキュラーエコノミーに転換しないリスク
- ✓ サーキュラーエコノミーを通じた新しい成長

総合パッケージ

ギア① 競争環境整備 (規制・ルール)

※今夏検討開始



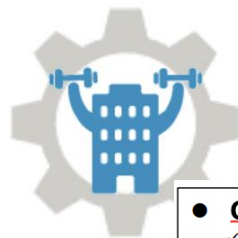
● 4R政策の深堀り

- ✓ 循環配慮設計の拡充・実効化
- ✓ 循環資源供給の拡大：効率的回収の強化
- ✓ 循環資源需要の拡大：標準化・LCAの実装
- ✓ 表示の適正化 : 循環価値の可視化
- ✓ リコマース市場の整備 : 製品安全強化 等

● 海外との連携強化

- ✓ クリティカルミネラルの確保
- ✓ 規制・ルールの連携 (プラスチック汚染対策 (UNEP)、CEの国際標準化(ISO)、情報流通プラットフォーム構築 等)

ギア② CEツールキット (政策支援)



● CE投資支援

- ✓ 研究開発・PoC(概念実証)支援
- ✓ 設備投資支援 (リコマース投資支援を含む)

● DX化支援

- ✓ トレサビ確保のためのアーキテクチャ構築支援
- ✓ デジタルシステム構築・導入支援

● 標準化支援

- ✓ 品質指標の策定支援

● スタートアップ・ベンチャー支援

- ✓ リスクマネーの呼び込み (CE銘柄)

ギア③ CEパートナーシップ (産官学連携)

※今夏立ち上げ予定



● 民：野心的な自主的目標の設定とコミット/進捗管理

● 官：競争環境整備と目標の野心度に 応じたCEツールキットの傾斜的配分

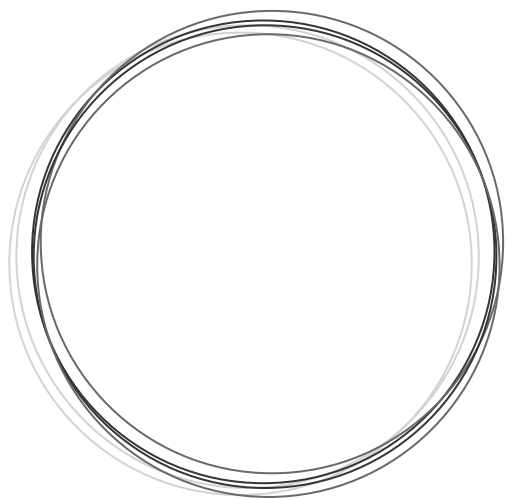
● ビジョン・ロードマップ策定

● 協調領域の課題解決

- ✓ CE情報流通プラットフォーム構築、標準化、広域的地域循環等のプロジェクト組成・ユースケース創出

● CEのブランディング

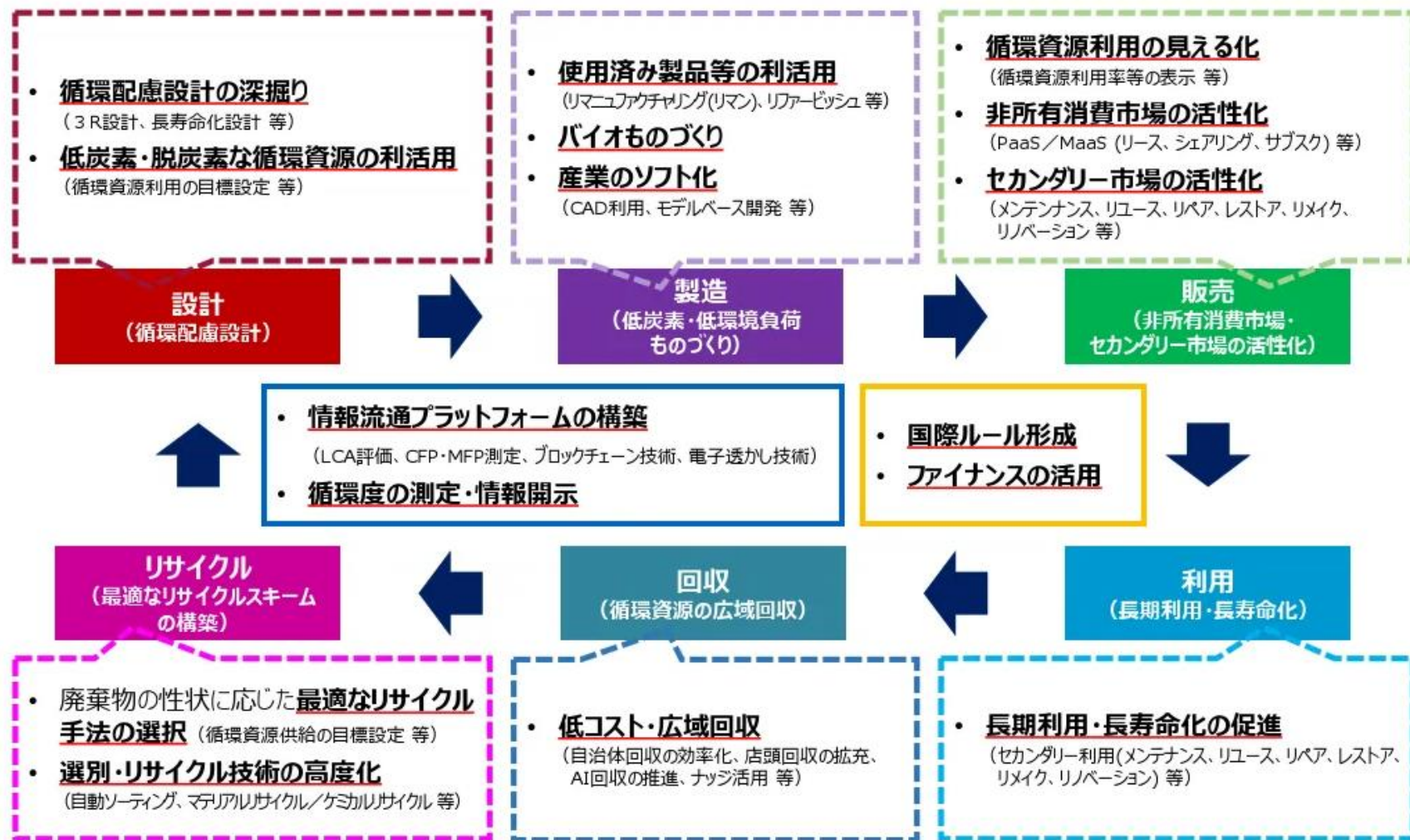
- ✓ CEの価値観の普及・浸透、教育、経営方針 等



1. | 当社紹介
 2. | サーキュラーエコノミー概要
 3. | 金融機関の役割
-

サーキュラーエコノミー移行に向けた課題

産業構造、ビジネスモデルの変革が伴う移行、サプライチェーン各所に課題あり



金融機関の役割

CE移行は事業会社だけでは難しい場面が多々あり、金融機関の役割は多い



エンゲージメント



サプライチェーンの構築



事業創出・ファイナンス

And more...

状況把握から実行フェーズへ！

本日のセミナーがヒントになれば幸いです

状況把握

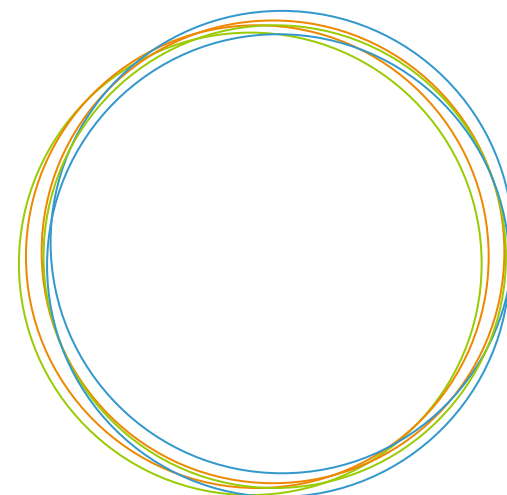


実行！



【留意事項】

- 本資料は、情報の提供を目的として作成したものであり、取引勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料は、作成日において弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成したものであり、その情報の正確性・確実性について保証するものではありません。また、今後の金融情勢・社会情勢等の変化により、内容が変更となる場合がございます。
- 本資料を使用した結果について、弊社は責任を負いません。
- 本資料には、一定の前提に基づく概算数値が含まれる場合がございます。実際の適用に際しては正式な計算を行う必要があり、その場合の結果は差異が生じる可能性がありますのでご注意ください。
- 本資料に係る一切の権利は他社資料の引用部分を除いて三井住友信託銀行に属しいかなる目的であれ本資料の一部または全部の無断での使用・複製はお断りいたします。
- 本資料の内容に関して疑問に思われる点、ご不明な点等ございましたら、弊社にご照会くださいますようお願い申し上げます。



【お問い合わせ先】

- 三井住友信託銀行株式会社 サステナビリティ推進部 / 代表メールアドレス:csr@smth.jp